

令和8年度事業計画

1 基本方針

国民一人一人の健康寿命への関心や、多くの企業においては健康経営への関心が高まる中で、全国的には、コロナ禍の終息以降、着実に健診受診者数は増加傾向にあります。一方、当法人の受診者数は合併後以降、ほぼ横ばい状態で推移してきましたが、今後、福岡市内にいくつかの健診施設が新たに整備されることから、これまで以上に競争が激化することが予想されます。また、昨今の人件費、物件費の上昇は、当法人の運営をより厳しくさせています。

このような状況を踏まえ、本年度は、「利用者満足度を向上させる取り組みの促進」、「事務事業の効率化・スリム化の促進」を事業計画の基本方針として取り組んでまいります。

利用者満足度を向上させる具体的な取組としては、健診部門では、受診者の利便性向上や健診の精度管理向上を中核に据え取り組んでまいります。受診者の利便性の向上としての主要な取組としては、Webによる健診予約や問診の一層の促進、健診受付時の待ち時間や検査時間の短縮化にも引き続き取り組んでまいります。併せて、職員の負担が過重なものとならないよう適正配置に努めてまいります。このほか、外部講師を招聘しての接遇研修や職場内研修にも力を入れてまいります。精度管理向上の主要な取組としては、日本医師会などの外部機関が行う精度管理事業に参加し、客観的な評価を受けるとともに、医師をはじめメディカル職員の資質の向上を図るため、外部から専門医を招いて行う5大がん（胃、大腸、肺、乳、婦人科）の専門部会や症例検討会を実施します。

環境科学部門では、事業分野の重点化に取り組み、利用者ニーズの増加が見込まれるPFAS分析や工作物石綿調査の体制強化を図ってまいります。

事務事業の効率化・スリム化の具体的な取組としては、特に健診部門において、5月から11月の繁忙期における健診日程の平準化に取り組み、健診スタッフや検診車、健診機器資材の効率的・有効活用を図ります。また、費用対効果を踏まえた上で、基幹電算システムの活用範囲の拡大やアウトソーシングの可否を検討し、事務負担の軽減・事務の効率化に取り組んでまいります。

公益財団法人としての中核事業である公益事業部門では、がん検診の重要性や結核予防への注意喚起などについて、関係団体と連携し、広く県民に啓発してまいります。また、研究機関や大学等のがん研究に対し、引き続き助成金事業を実施してまいります。